



**OCEANIC**

IRON ORE CORP

[WWW.OCEANICIRONORE.COM](http://WWW.OCEANICIRONORE.COM)

TSX:V - FEO

投資家の皆様へ  
プレゼンテーション資料

2015年4月

# 注意事項

このプレゼンテーションでは、適用される証券法に則って、特定の「将来予想に関する記述」が使われています。本書に含まれる全ての記述は、歴史的な事実を除いて、鉱化作用および資源の可能性、採掘結果、ならびにオーシャニック鉄鉱会社（Oceanic Iron Ore Corp、以下「オーシャニック」または「当社」）の将来計画と目標に関する記述を含みますがこれに限定されず、様々なリスクと不確実性を伴う将来予想に関する記述です。ある場合においては、「計画している」、「期待している」、「または「期待していない」、「予定されている」「信じている」のような文言、あるいは、特定の行動、出来事または結果が実施、発生、達成する「可能性がある」、「...かも知れない」、「...であろう」、「...でありうる」、「...かも知れない」または「...だろう」といった多様な語句あるいは記述の使用により、将来予想に関する記述を特定することができます。このような記述および表現が正確である保証はなく、実際の結果がそのような記述から明示または想定される状況と異なる可能性があります。 将来予想に関する記述は当社経営陣が本書を提示する時点で妥当であろうと判断した前提に基づいています。 本プレゼンテーションで将来予想に関する記述を用いるに当たって、当社は幾つかの具体的な前提（以下に挙げる内容を含みますがこれに限定されません）を適用しております： (1) 作業に悪影響を起こすような大きな支障、例えば、労働・サプライの中断、機器・設備の損傷が起こらない、(2) 当社が現在期待する通りの開発、発展、パワーサプライが可能である、(3) 鉄鉱の価格の前提、(4) 入手可能な天然ガス、石油、電気、機器とそのパーツ、およびその他の主要なサプライと価格が現レベルと同様である、(5)当社の保有する現鉄鉱資源の評価が正確である、(6) 労働および資材のコスト当社の現段階で期待する上昇率である。当社の期待と異なる結果を引き起こす重要な要因については当社の合併と買収（MD&A）（2014年11月26日に提出）の「リスクと不確実事項」の欄に記載されており（そのコピーはSEDARにより一般にも入手可能です。詳細は当社のプロファイル項目をご参照ください：[www.sedar.com](http://www.sedar.com)）、この文献はトロントベンチャー証券取引所（TSX Venture Exchange）とその他の規制当局にも提出されており入手可能です。重要な要因には、特に、当社が十分な財源と適切な保険を入手できる能力、経済一般の動き、外貨市場の変動、鉄鉱または他の資源（例、ディーゼル燃料と電気）の現物価格と先物価格の変動、利息の変動、金融市場の問題と資本確保の遅れ、コスト過剰と予期しなかった出費、労使関係に関するリスクが含まれます。従って、本プレゼンテーションをご覧になる方は、これら将来予想に関する記述に過剰な信頼を置かないようご注意ください。適用される証券法の下で要請される項目を除いて、当社は、新規の情報、将来の出来事その他の理由によって、将来予想に関する記述を公に更新する義務を負わないものとします。

**地質技師、ケベック地質学者協会（OGQ#403）、当社探鉱取締役、NI 43-101規定に基づく有資格者であるエディ・キャノバ（Eddy Canova）が、本資料に含まれる技術的情報を審査し、その内容に責任を負うものとします。**

資本構成要約 (2015年4月20日)	
発行株	35,048,136
ワラント (\$0.30 - \$10.00)	19,032,500
オプション (\$0.155 - \$0.20)	3,404,350
転換社債 (\$1.60)	1,875,000
制限株	1,481,835
完全希薄化	60,841,821
上場	FEO (TSX-V)

# 事業概況

- ・ ケベック州ラブラドル海溝（Labrador Trough）での鉄鉱開発
- ・ \$200億を越える資産の管理、運営、開発および売却経験を持つ経験豊かな経営陣
- ・ アンゲイバ湾プロジェクト（Ungava Bay）を100%保有 - ホープスアドバンス（Hopes Advance）、モーガンレイク（Morgan Lake）、ロバーツレイク（Roberts Lake）
- ・ ケベック州の1,568km<sup>2</sup>以上にわたる地域で鉄鉱に特化した最大の利権を保有 - 採鉱権利数：3,703
- ・ 実現可能性調査に基づいて現在進行中のホープスアドバンスプロジェクトの採鉱権を保有
- ・ ホープスアドバンス開発を進めるための戦略的パートナーの特定が次の重大な動因



# ホープスアドバンスプロジェクト- 世界クラスの第一級製品鉄鉱プロジェクト

- ・ 世界クラスの鉄鉱埋蔵量
- ・ 最低値の4分位値コスト
- ・ 最高クラスの経営
- ・ 高質な製品
- ・ 全ての価格サイクルで浮上



ホープスアドバンスの 66.5% Fe ペレット



鉄鉱キャリアー

# ホープスアドバンス-北米での第一級品質、 低コストな鉄鉱プロジェクト

<p><b>予備的な実現可能性調査* における好調な経済状態</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規範事例税込み正味現在価値 (NPV) \$ 56億およびアンレバレッジ内部収益率 (unlevered IRR) 20.5%</li> <li>・ 採鉱オペレーション耐用コスト\$30/トン、世界で最低コストの鉄鉱業となる可能性</li> </ul>
<p><b>説得力のあるインフラの強み</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海岸線に位置、鉄道インフラがない- 資本とオペレーションコストの節約</li> <li>・ 電力および港インフラ開発、更にプロジェクト施行スケジュールについて自立と独立</li> </ul>
<p><b>大規模な埋蔵</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 規模 - 13.6億の証明され可能性の高い埋蔵量 **</li> <li>・ 初年度から15年度までの剥土比 (Strip Ratio) が0.5:1と低い採鉱コスト</li> </ul>
<p><b>冶金学的に分りやすい構成</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 簡単なフローシートでの高率な重量と鉄鉱回復</li> <li>・ 多くのベンチスケールおよびプラントパイロット試験で4.5%シリカを含む高質、非常に低い不純物含有率、更に66.5%の鉄グレードが示唆された</li> </ul>
<p><b>戦略的パートナーの利点</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケベック州政府とイヌイット共同体に対し基本合意書 (LOI)が提出済み</li> <li>・ 中国のような国にとって3大供給者への依存を減らすため安全な生産国の高質な鉄鉱プロジェクトに直接投資することは戦略的に継続して意味がある</li> <li>・ 低いコストと鉄道インフラが無い事の利点に規模と高質な製品を合わせて世界の鉄鉱産業界に広い魅力</li> </ul>

\* スライド7を参照

\*\* スライド12を参照

# ホープスアドバンス 予備的な実施可能性調査の注目点(2012年9月)

項目	前調査ハイライト
本船渡し (FOB) 価格	\$100/トン
カナダドル : 米ドル	\$1.00
マインライフオペレーションコスト	\$30.18/トン
税込み 正味現在価値 (NPV) (8%)	\$56億
税引き後正味現在価値 (NPV) (8%)	\$32億
税込み内部収益率 (IRR) (レバレッジド)	23.2%
税引き後内部収益率 (IRR) (レバレッジド)	19.2%
初期資本費用	\$28.5億
拡張資本費用	\$16.1億
剥土比 (Strip Ratio) 1 – 15年	0.57
マインライフ剥土比	1.17

- 第1相産出 1000万 トン/年を**10年間**
- 生産量2000万トン/年へと**その後拡大**
- 推定される鉱山寿命31年
- 2012年以来強いカナダドルと低い燃料費が、鉄価格における大部分の低下を抑え魅力的なプロジェクトを維持

## 現在までの主要な発展事項

- ・ 技術面
  - ・ パイロットプラントの試験とフローシートの開発
  - ・ ホープスアドバンスの予備的な実施可能性調査が完了
  - ・ 証明され可能性の高い埋蔵量\*が確定
- ・ プロジェクトの最適化
  - ・ 市場調査に製品価値を使用
  - ・ 製品最適化調査
  - ・ 出荷最適化調査
- ・ 関連パートナーシップ
  - ・ イヌイット共同体と基本合意書協定
  - ・ ケベック州政府の財政経済局からホープスアドバンスプロジェクトについて基本合意書を入手
- ・ 戦略的パートナー構築
  - ・ 戦略的パートナー・オフテイクの可能性を構築中



## 現在の国際資源は高質サプライへの 需要を高めている

- 主要な供給源の質が低下しており、この傾向は継続する。
- 日本市場は消費者需要を満たすため高質の扁平炭素とステンレススティール産物に集中してきた。すべての日本のステンレス製造業者は現在鉄サプライの質の問題を懸念している。
- 拡大するカナダ国内の消費需要を満たすため、既存の長い鋼を平鋼に中国で再編することが問題を大きくする。
- 中国での自動車と家電製品需要の増大が将来の更なる需要を生み出す。
- スティール生産の将来予想では平坦スティールが今まで10年来より高い価格になることが示唆される。
- 鉄鉱の質が低下しつつあることで不純度の低い鉄産物の価値が顕著に上がることが予想される。カナダは高質な鉄産物の最高の供給源の一つである。
- 過剰供給による価格の周期的な変動にもかかわらず、低下しつつある質の問題が国際市場の構造的な変化を意味する。

## アジアを拠点する戦略的パートナー経験

- 中国で主要な鋼鉄生産者による高品質海外鉄鉱プロジェクトへの継続的な直接投資が行われている。その動機は次の通りである：
  - 品質が低下しつつある
  - 国内での生産がコスト高または国内生産が無い
  - 鋼鉄セクターでの長期的な成長期待が続く、特に平坦鋼鉄商品で顕著
  - 「3大」製造業者による供給市場シェアの増大
- 国有企業投資についての精査がより詳細に行われている
- 日本は現在のところ低品質の鉄鉱供給の結果と戦っている
  - 最高のプロジェクトのみが意味がある (大規模の埋蔵量、高品質の産物、および低いオペレーションコスト)
  - カナダは地理的位置と質の高い資源の供給源として魅力的と見られている
- 低鉄鉱価格低下が国際投資選択範囲を限定する
  - ホープスアドバンスはカナダにおける最も有望な投資機会であるという認識が増えつつある
  - 現在の市場が好ましい買収評価で投資の機会と見なされている

## 次のステップ

開発活動	完了目標年
戦略的パートナー構築と融資	2015
環境インパクト調査の完了	2016
地域の関係者とのインパクト・利点同意を懇談	2015 / 16
実施可能性調査	2016
プロジェクト構築	2017 / 19
生産	2020 – 2051+

## ホープスアドバンス鉱物資源埋蔵量

### 鉱物資源埋蔵量 (25% Fe カットオフ)

範疇	トン	総 Fe (%)	重量回復率 (%)
証明済みの埋蔵量	763,276,000	32.3%	37.4%
可能な埋蔵量	595,990,000	32.1%	37.1%
証明済みおよび 可能な埋蔵量	1,359,266,000	32.2%	37.3%

#### 開示:

- ・ 露天掘り埋蔵量は 25% Fe カットオフグレードに基づくものとする。
- ・ 埋蔵量の計算は業界の標準的な採掘所最適化技術に基づき、傾斜と表面の制約を含む詳細な採掘所デザインを用いている。鉱物埋蔵は鉱物資源に内包されている。鉱物埋蔵量推定の効力日は2012年9月19日である。
- ・ 推測される約72.7百万トンの 32.8% Fe は除外されている。鉱物埋蔵でない鉱物資源は経済的な価値が証明されていない。
- ・ 鉱物資源の開発の可能性に影響する既知の法的、政治的、環境的、その他のリスクはない。

# ホープスアドバンスの写真



キャッスルマウンテン



ゾーン2



キャンプ



ドリルコア

## ホープスアドバンス冶金学

<p><b>ベンチスケール試験運転</b> 2012年4月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>600 のサンプルをすべての鉱脈から採取</li> <li>成層法による鉄の回復率が高く重量回復率が高いことが示された</li> <li>シンプルプロセスフローシートで高グレードの 66.5% 精鉱</li> <li>有害物質が低レベル、<math>\leq 4.5\%</math> シリカ</li> </ul>
<p><b>パイロットプラント試験運転とフローシート開発</b> 2012年9月</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10 トンと250トンの混合サンプルに基づく</li> <li>シンプルフローシート</li> </ul>
<p><b>特徴</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナス 300 ミクロン (マイナス 50 メッシュ) 粗引き研削で 87% のFe ユニット</li> <li>残りの13% は精細グラインドと磁気隔離により高質化</li> <li>プロセスコストが低い、低い研削コストと低い電力コストによる</li> </ul>

# ホープスアドバンスフローシート - 簡潔化した冶金学のプロセス



一次研削	
%Fe	34.2%
%SiO <sub>2</sub>	42.1%
Wt%	100%
Grind	300um

- ・ シンプルフローシートで重量とFeの高回復率



スパイラルテール	
%Fe	19.7%
%SiO <sub>2</sub>	59.2%
Wt%	68.5%

Cobber LIMS Con	
%Fe	40.0%
%SiO <sub>2</sub>	40.8%
Wt%	13.5%



最終テール

比重精鉱	
%Fe	65.9%
%SiO <sub>2</sub>	4.8%
Wt%	31.5%

**精鉱の84%**

磁力精鉱	
%Fe	70%
%SiO <sub>2</sub>	3.0%
Wt%	6.1%

**精鉱の16%**

最終精鉱	
%Fe	66.6%
%SiO <sub>2</sub>	4.5%
Wt%	37.6%
%Mn	0.22%
P80	128 um



注: 少なくとも最初の15年の生産を支えるキャスルマウンテン鉱脈についてのパイロットスケール試験運転に基づくものとする。

### 主要な要素 (%)\*

Fe	SiO <sub>2</sub>	MgO	CaO	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	Na	K
66.6%	4.5%	0.1%	0.4%	<0.01%	<0.01%	<0.01%

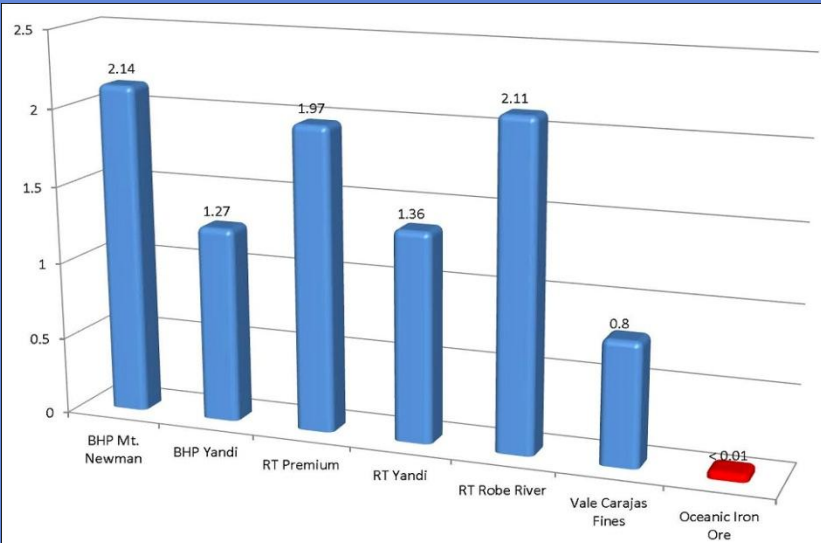
Mn	Ti	Cr	V	P	S
0.22%	<0.01%	<0.01%	<0.01%	<0.01%	0.03%

- 混合精鉱は 64% 赤鉄鉱と 30% 磁鉄鉱を含む
- 赤鉄鉱と磁鉄鉱の比は 2.1 : 1

\* キャスルマウンテン鉱脈の分析

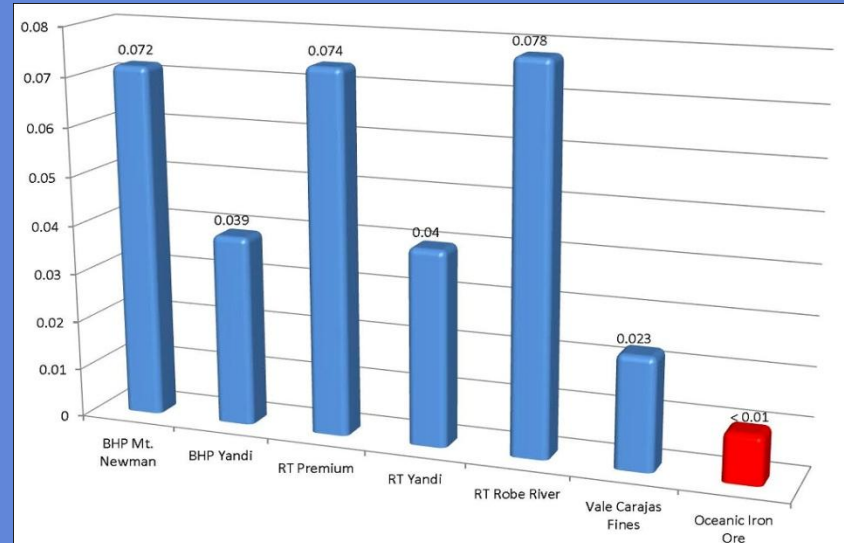


## アルミナ - % $\text{AlO}_2\text{O}_3$



出展: アルデロン鉄鉱、2012年9月

## リン - %P

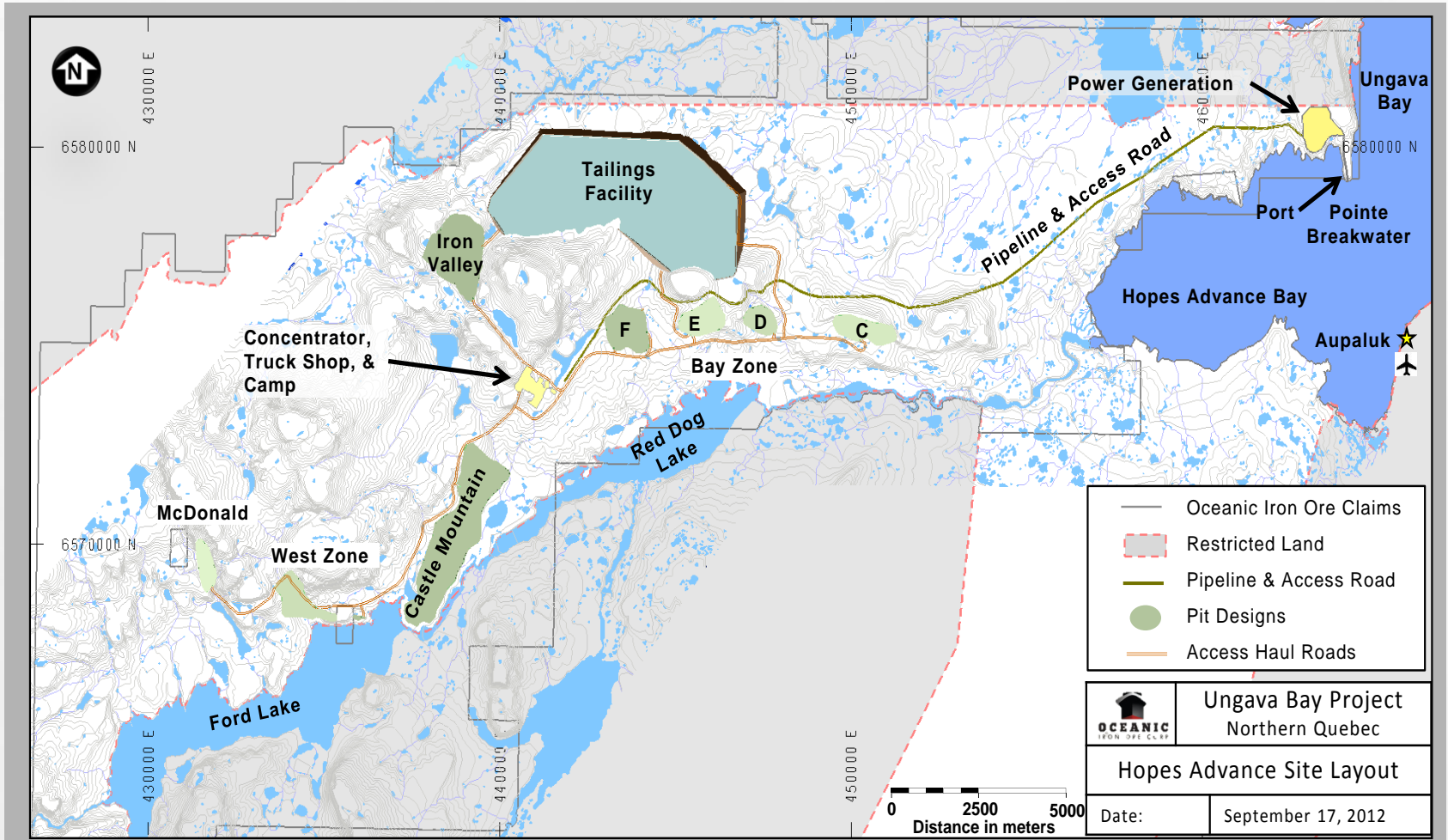


出展: アルデロン鉄鉱、2012年9月

- 最低度のアルミナとリンを含有する高質な産物
- 溶鉱炉の性能とオペレーション全体および資本費への良好なインパクト

# ホープスアドバンス サイト地図

- ・ 鉄道を必要としない



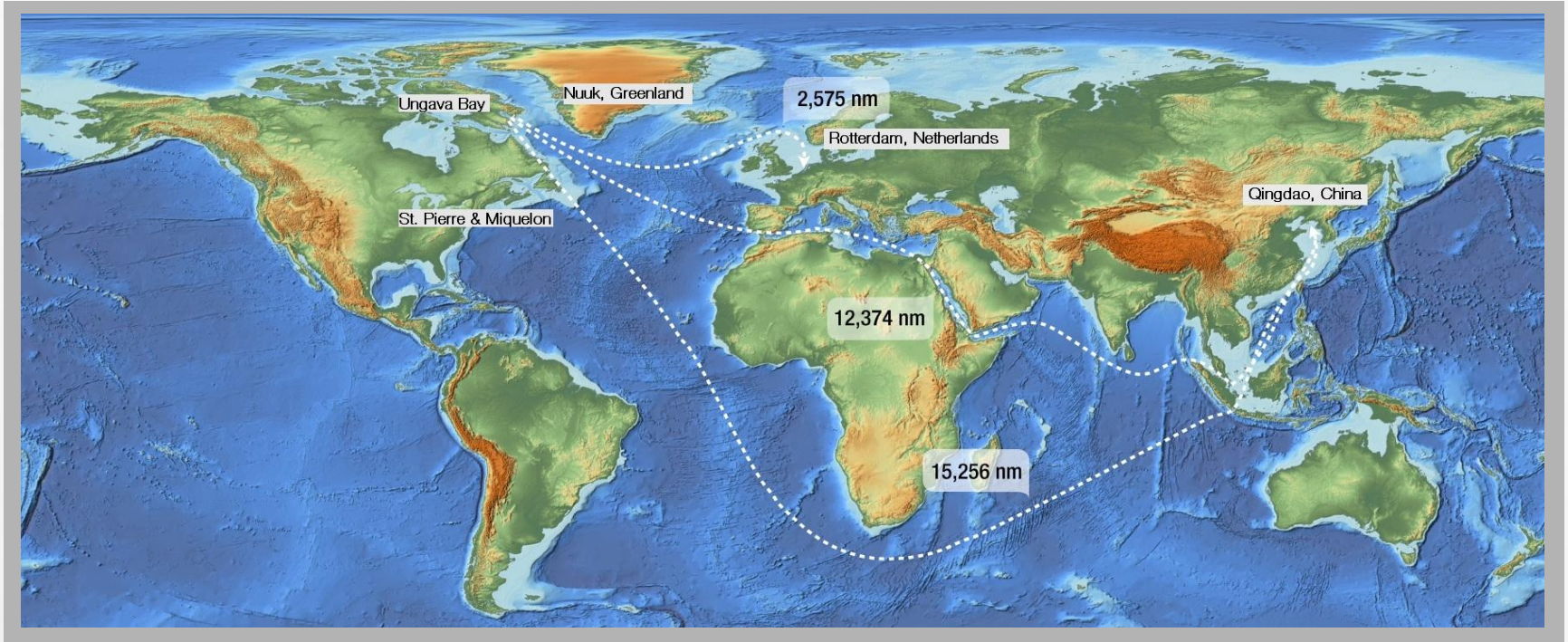
# 港と搬送ロジスティックス

- 2013年9月 – AMECによる搬送最適化調査の結果
  - 搬送および船舶輸送会社更に港規制当局によるインプットを含む:
    - Fednav Limited
    - Canada Steamship Lines
    - Europees Massagoed Overslagbedrijf
  - 搬送戦略は技術的に可能
    - 非凍結期間中に直接輸送が可能
    - 冬季は船舶輸送
  - **CFR 現金コストは\$65/トン以下 (搬送を含む) 中国 青島まで**
    - 最適化調査完了後のバンカーコスト低下により約 \$5/ トンの平均搬送コスト低下を結果した
  - 考慮された港: ヌーク (Nuuk) 、  
ロッテルダム (Rotterdam) & セントピエールおよびミケロン (St. Pierre & Miquelon)



ポワンテブレイクウォーター港サイト

# 年間を通じて可能な搬送ルート



- ・ ホープスアドバンス湾は北西にディセプション湾 (Deception Bay)と南東にボワジー湾(Voisey's Bay)を持ちその中央にある
- ・ 定評のある搬送技術: Glencore Xstrata、Vale、およびCanadian Royaltiesが一年中営業、3回中2回の船舶オペレーションでホープスアドバンスの北側に位置する

トーマス・パタソン (Thomas Paterson) 、北極圏の輸送会社Fednavの副社長:

「わが社のカナダ極北部での長年の経験からして、ホープスアドバンスプロジェクトからの発送は一年中行う事ができると言える。Fednav社は本調査の際にホープスアドバンスプロジェクト用に将来の搬送オペレーションについて提出した競争力の高いコスト評価を守り、本プロジェクトの長期成功へと貢献する準備が整っている。」

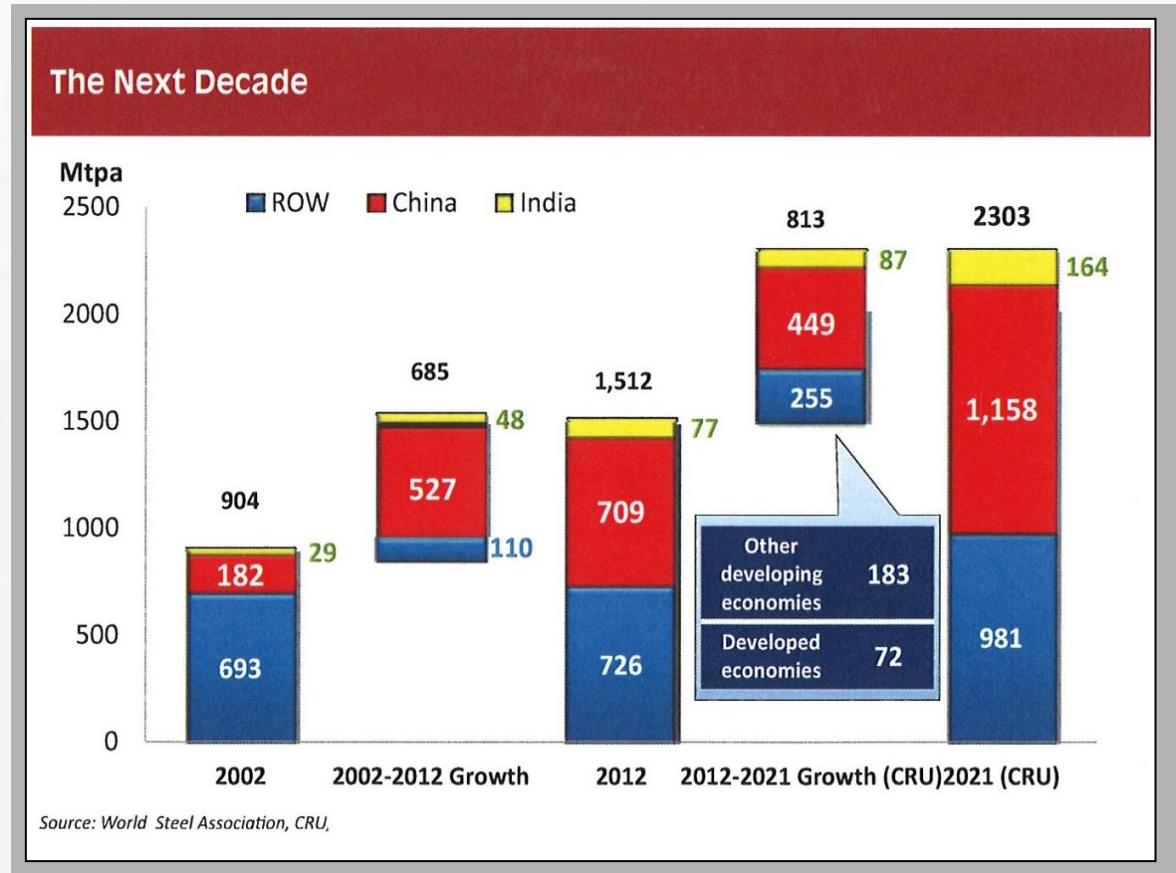
## 社会環境的考慮

- 企業理念と優先事項
  - 明確なコミュニケーションと職員、コンサルタント、およびコントラクターから買い入れが要求される
- 初期における関係者と政府との相互作用
  - イヌイット共同体との基本合意書が同意された
- 地域の人達のニーズにフォーカスしつつ、文化と環境を尊重する
- 業界の将来のプロジェクト評価の基準となる事を目指す

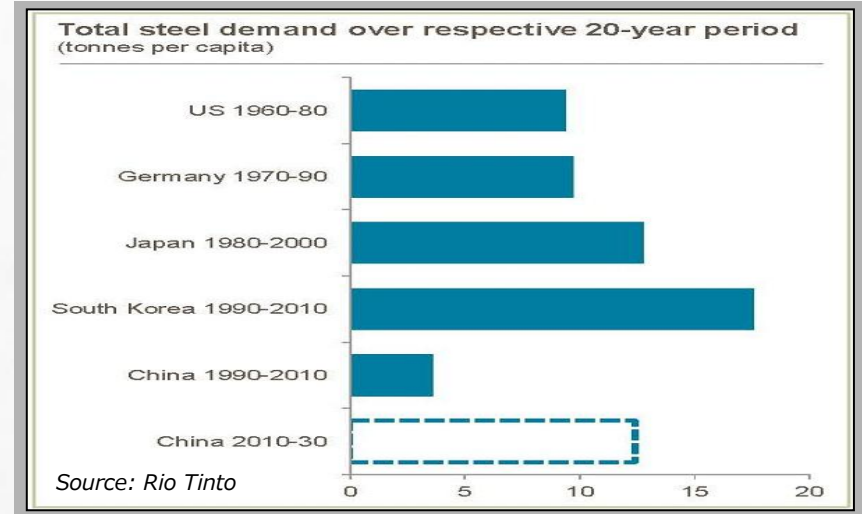
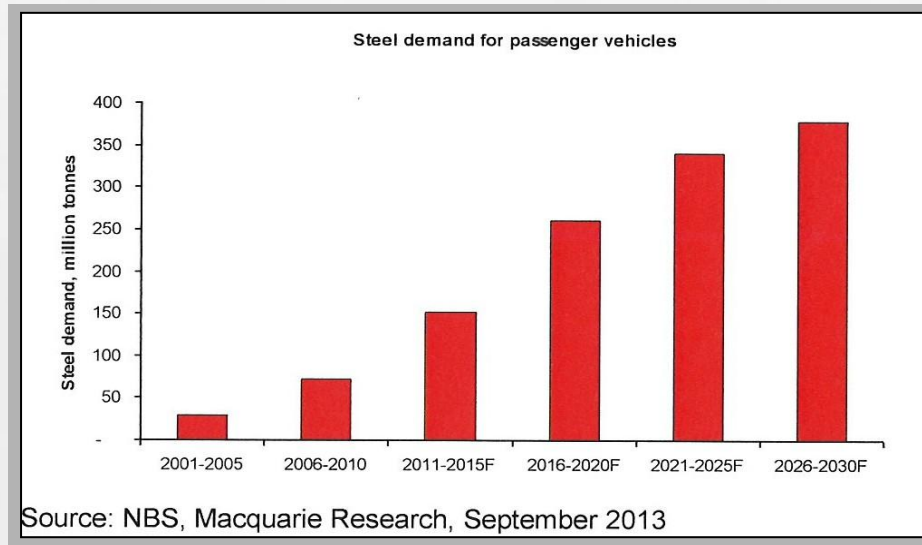
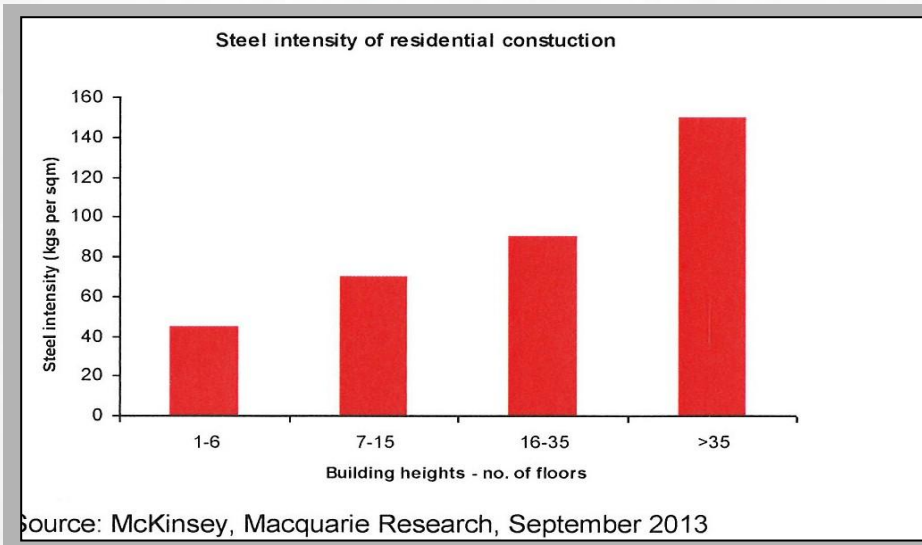


# 2021年までに国際的な鋼鉄生産が50%上昇する

- 中国が指導権を持ち、インドとその他の地域も寄与する
- 国際的な建築業セクターの成長が2025年までに70%上昇と予想される
- 中国の鉄鉱資源が減少し40%の中国の収容能が2018年までに非経済的と考えられている
- 低コストで高質の生産の可能性が注目される



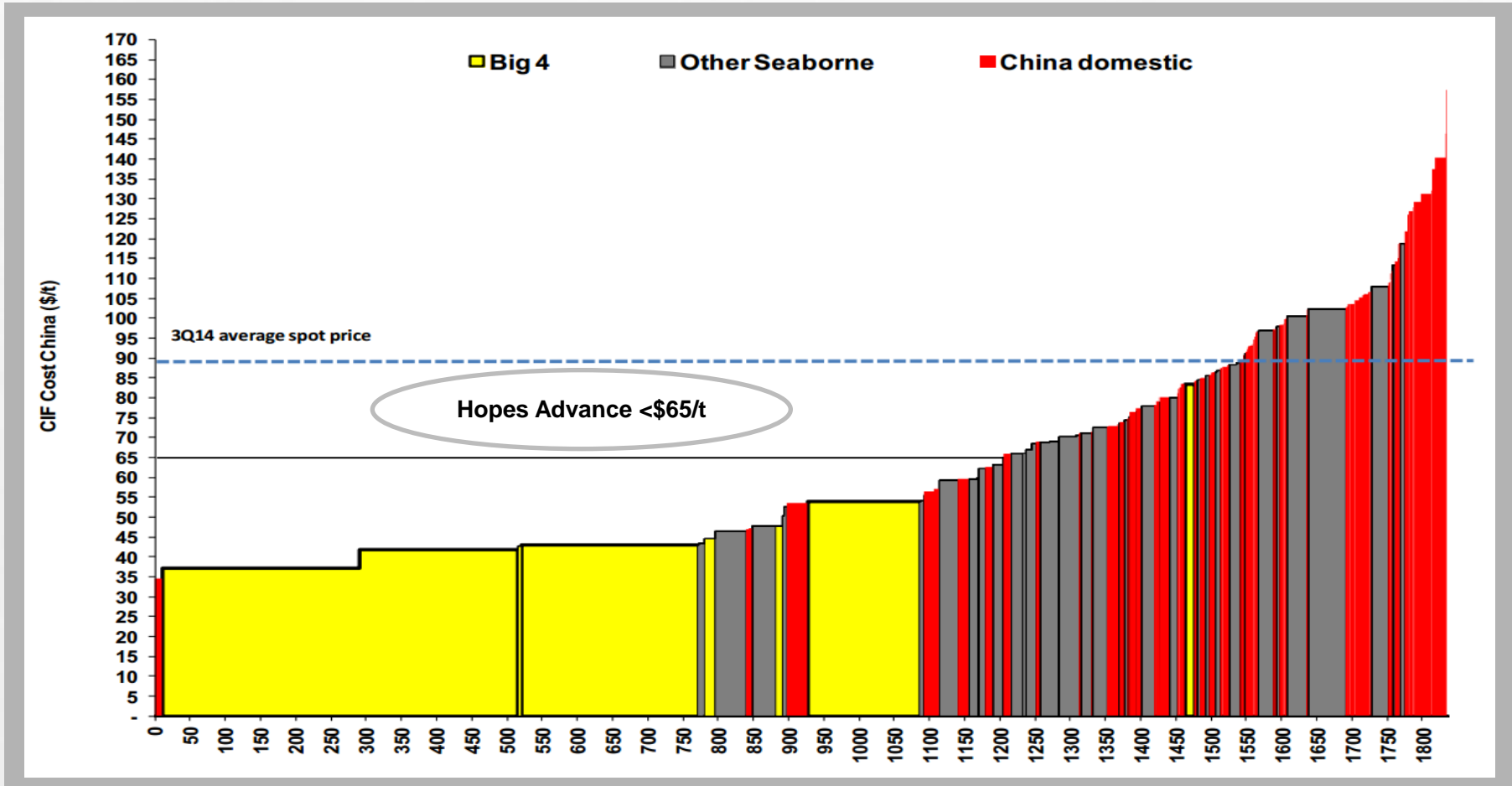
# 中国の鋼鉄需要 中長期的に健全で増加する



- 緩やかに都市化が続く
- 高建物が増えるに従って鋼鉄集中が増大
- 中国の累積的な一人当たりの鋼鉄消費量は先進国よりかなり遅れている
- このことは過去10年の顕著な経済成長にもかかわらずである
- 中国での粗鋼鉄生産が2030年でピークに達すると予想される
- 自動車、機械および電気機器、エアコンといった家電の新規・置換消費が更に将来の成長を促進する

# 中国の供給コスト CIF

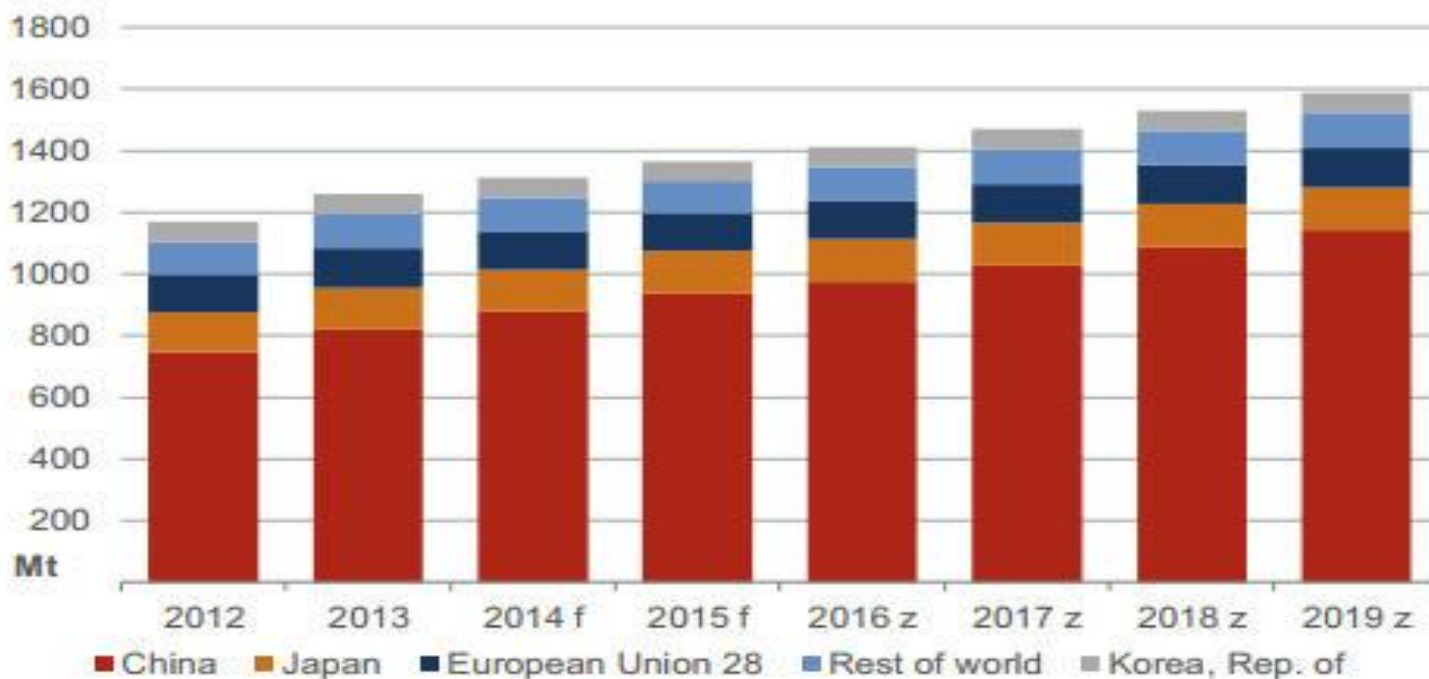
「国の開発と改善委員会が2014年3月に述べているには、中国の鋼鉄生産者は国際鉄鉱財に投資し続け中国の戦略的な安全性の利点を上げ、国際貿易での『話ができる』権利、または影響力を高めるべきである、ということである。  
税関データによると中国の鉄鉱輸入は去年で10%上がり、記録的な 8.19 億メートルトンとなった」





## 中国の鉄鉱輸入者としての重要度が増す

World iron ore import destinations

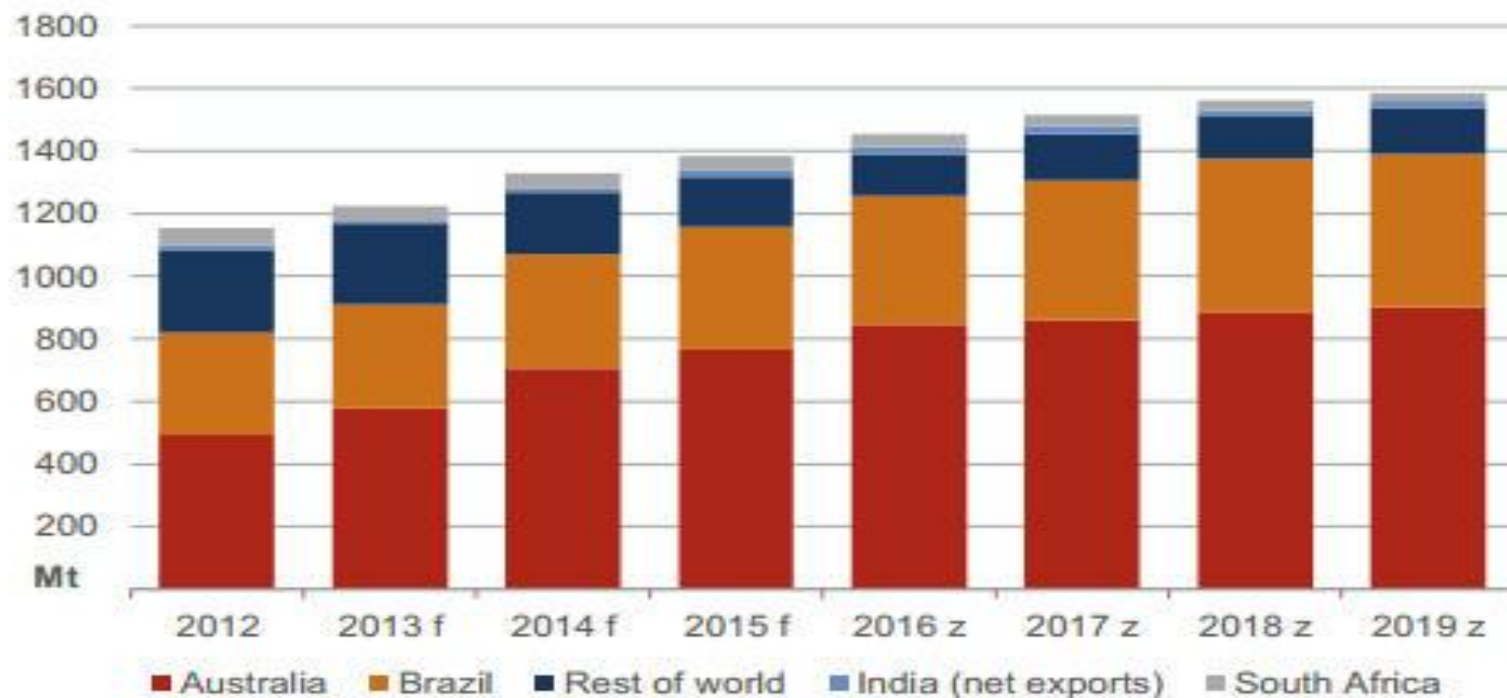


f BREE forecast. z BREE projection

Sources: BREE; UNCTAD.

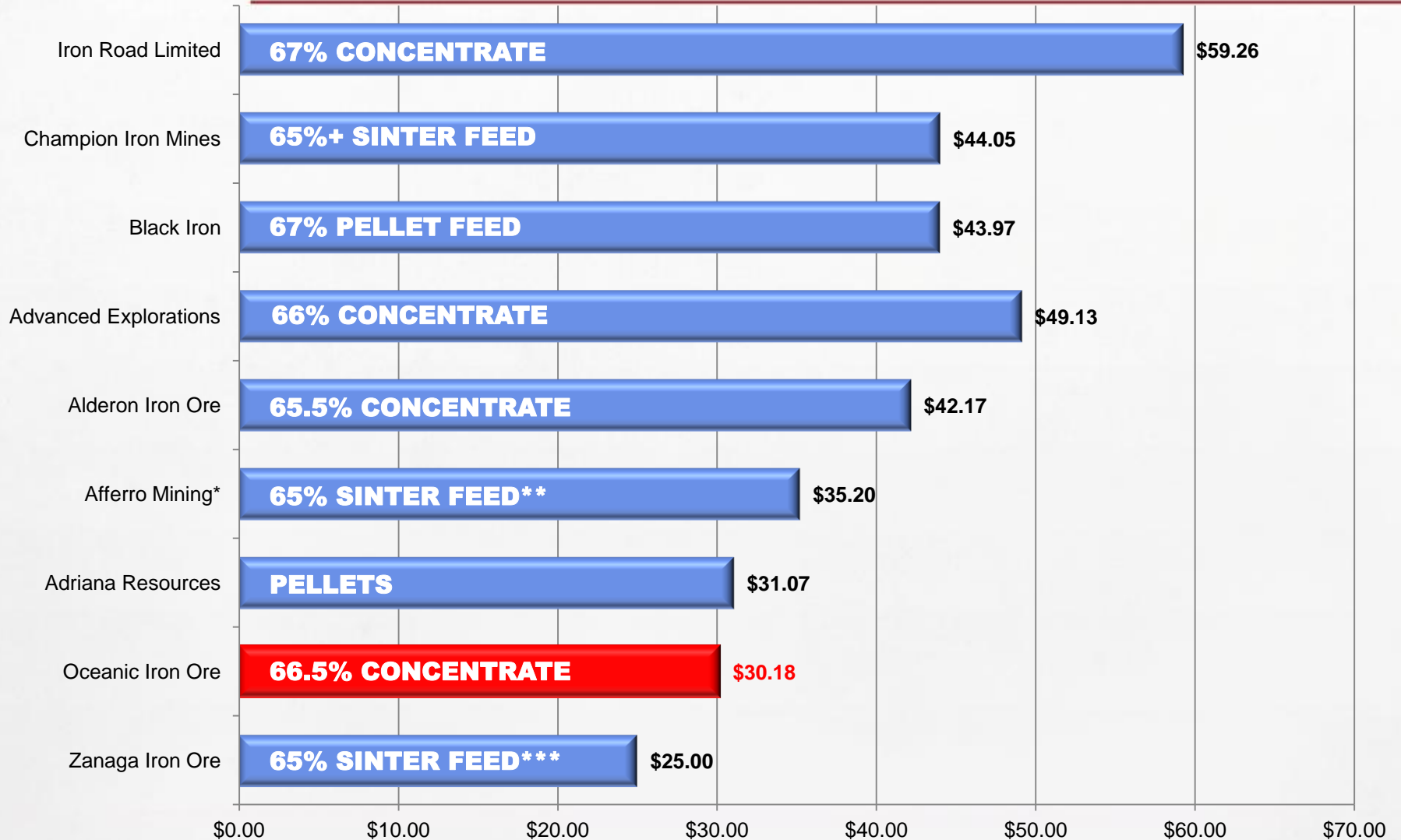
# 世界の鉄鉱輸出源

World iron ore export sources



f BREE forecast. z BREE projection  
Sources: BREE; UNCTAD.

# 同業者と比較して低いオペレーションコスト



\* 15 メトリックトン/年 産出

\*\* 期待される産出量 61.5% DSO および 68% ペレットフィード

\*\*\* 期待される産出量 67% 精鉱

オペレーションコスト (\$/t)

# ホープスアドバンス – 第一級鉄鉱開発プロジェクト

- 低リスク管区での例外的に大規模な資源
- 低コスト生産者: \$30/トン・メインライフ
- 高グレード (66.5%) 海上運搬される市場への第一級精鉄
- 低い不純度 = 高質な供給源
- 政府寄金と第3者インフラから独立した素早い開発予定

「カナダの同業者に比較して現金コスト推定は低く、剥土比1.17:1、特に初年は (0.57:1 第1年度から第15年度) であり、埋蔵場所の近くで港へのインフラの近くである。当社オーシャンニックはスラリー精鉱を26キロのパイプラインを用いて製鋼工場からウンゲイバ湾の計画されている港サイトまで 搬送する予定である。海まで近距離で鉄道を必要としない事はオペレーションコストの面で同業者と比較して顕著な利点がある。」

ダニエル・グリーンズパン (Daniel Greenspan) 、マックワイアーキャピタルマーケットカナダ (Macquarie Capital Markets Canada) 2013年7月

The image features a textured, light gray background. On the left side, there is a large, abstract graphic composed of several overlapping shapes. At the top left, there is a black curved shape. Below it is a white curved shape. Further down is a large black shape that tapers to the right. At the bottom left, there is a red shape. The overall composition is modern and minimalist.

# 付録

## 取締役会

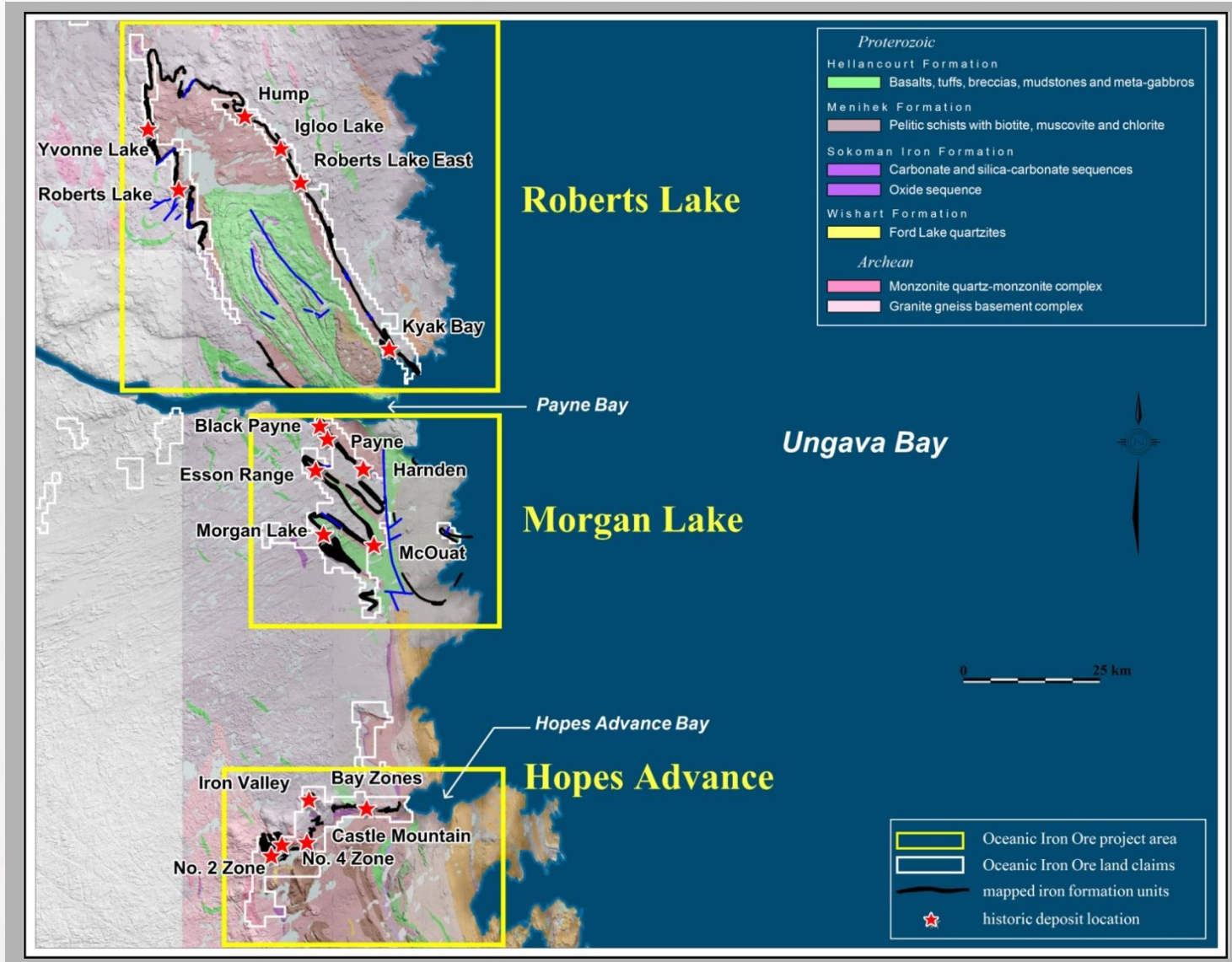
<p><b>スティーブ・ディーン</b> (Steven Dean) 会長兼取締役</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アーオーストラリア採鉱および冶金学院のフェロー、カナダ採鉱、冶金学、石油院のメンバー、オーストラリア勅許会計士院のフェロー。国際的な採鉱に豊かな経験、近年はテウレックコミンコの社長（Teck Cominco Limited (現在名Teck Resources Ltd.)）。テウレックは多角資源の主要な会社で北米における最大の原料炭生産者であり、世界の鋼鉄製造者に対する世界第2の原料炭輸出者である。</li> <li>・ ノルマンディーポセイドングループ(Normandy Poseidon Group、後に Normandy Miningとなる)の創始者。このグループは2002年にNewmont Miningに売られるまでオーストラリアセ最大の金生産者であった。同時に氏はパッキン採鉱の創始者で、この会社は1999年にテック社（Teck Corporation）の子会社となった。さらに、氏はアメリゴ資源（Amerigo Resources Ltd）の創始者の一人で前会長でもある。</li> </ul>
<p><b>グレッグ・セダン</b> (Gregg Sedun) 創設者および取締役</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダイヤモンドフィールド資源（Diamond Fields Resources）、アダストラ鉱物会社（Adastra Minerals Inc）、ペルーコッパー（Peru Copper Inc）を含む多くの成功した会社の創始者および取締役。</li> <li>・ 現在ベンチャーキャピタルのグローバルビジョンキャピタル（Global Vision Capital Corp）の社長兼CEO。以前はゴールドグループ採鉱（Goldgroup Mining Inc. (TSX:GGA)）の会長、およびウラカン資源（Uracan Resources (TSX.V:URC)）の会長および取締役。</li> </ul>
<p><b>ゴードン・キープ</b> (Gordon Keep) 取締役</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 投資銀行業務と公的自然資源会社創設に多くの経験。現在、専門商業銀行のフィオーレファイナンシャル（Fiore Financial Corporation）の副社長。その他、幾つかの資源関係の会社の役員または取締役。</li> </ul>
<p><b>ジョン・レイノルド卿</b> (John Reynolds) 枢密院 議員 取締役</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1983年から1991年までブリテイッシュコロンビア州上院議員と1972年から1977年、1997年から2006年まで、オンタリオ、オタワで議員。</li> <li>・ 現在、勅許枢密顧問のメンバー、2006年3月からはマックミラン法律事務所（McMillan、以前はLang Michener LLP)のシニア戦略アドバイザー。</li> </ul>
<p><b>ジャン・マーテル</b> (Jean Martel) 取締役</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、TMX グループ（TMX Group Ltd. (TMX)）取締役会のメンバー、これはトロント証券取引所とTSXベンチャー証券取引所の親会社である。</li> <li>・ TMXの規制監視委員会およびTSX、TSXV、MX、Alphaの規制と政策委員会の委員長、ケベック弁護士投資ファンド独立レビュー委員会の委員長。</li> <li>・ ケベック州財務省副大臣補佐、財政部副大臣を前任。</li> <li>・ 1999年9月以来、氏はラベリー（Lavery、ケベックでの法律事務所）のパートナーである。</li> </ul>

## 経営陣

<p><b>アラン・ゴーマン</b> (Alan Gorman) 社長兼CEO</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30年以上の主要な鉱山および採鉱プロジェクト指揮の経験</li> <li>・ 北部および極北部でのオペレーションを数多く経験</li> <li>・ ゴールドブルック (Goldbrook Ventures) とジエンカナダ (Jien Canada Mining Ltd) のナナビックニッケルプロジェクトでのオペレーション副社長、さらに、バフィンランド鉄採鉱 (Baffinland Iron Mines Corp) でのオペレーションマネージャーを前任。</li> </ul>
<p><b>クリス・バターラ</b> (Chris Batalha) CFO兼事務部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公認会計士、PWCでの会計検査員、PWCでの勤務5年以上</li> <li>・ 2011-2014年にオーシャニック鉄鉱での法人監事</li> <li>・ 会計、財務、コーポレートガバナンス、合併買収の経験</li> </ul>
<p><b>イルファン・シャリフ</b> (Irfan Shariff) 法人アドバイザー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オーシャニック鉄鉱での前CFO および事務部長</li> <li>・ カナダバンクーバーにおける若い資源企業へのコンサルタント</li> <li>・ 英国ロンドンのシテイグループで8年の法人財務と合併買収アドバイザー (2001-2008)</li> </ul>
<p><b>ロドニー・ジョンソン</b> (Rodney (Rod) Johnson Ph.D) 地質冶金学副社長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリフ資源会社 (Cliffs Natural Resources, Inc) で主任地質冶金学者およびプロセス鉱物学者として勤務、ホワイトパイン採鉱 (White Pine Mine) のコッパーレンジ (Copper Range Company) で主任地質学者、ウェスタン採鉱 (Western Mining Corporation) でシニア発掘地質学者として勤務。</li> <li>・ ミシガン工業大学から地質学博士号、専門は鉱物埋蔵、構造地質学、低温液体地球化学および地下水学。</li> </ul>
<p><b>ジョン・ホール</b> (John Hall) 搬送兼海上運輸 副社長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業バルク輸送に35年の経験、専門は港、搬送、船舶輸送。</li> <li>・ 過去の経験に港と海上ロジスティックのコンサルタント、バフィンランド鉄採鉱、セベスタル、アロデロン鉄鉱、ドミニオンターミナルサービス、ニューコーアスチール、テックおよびコークレリチ (Baffinland Iron Mines, Severstal, Alderon Iron Ore, Dominion Terminal Services, Nucor Steel, Teck Corp., Coeclerici)</li> <li>・ カナダ蒸気船、ジェブセンスグループ (社長兼CEO)、スカーラブ (Canada Steamship Lines, Jepsens Group, Skaarup) で管理職を前任。</li> </ul>

# ウンゲイバプロジェクト領域

## 3,703 権利 – 1,568 SQ.KM.

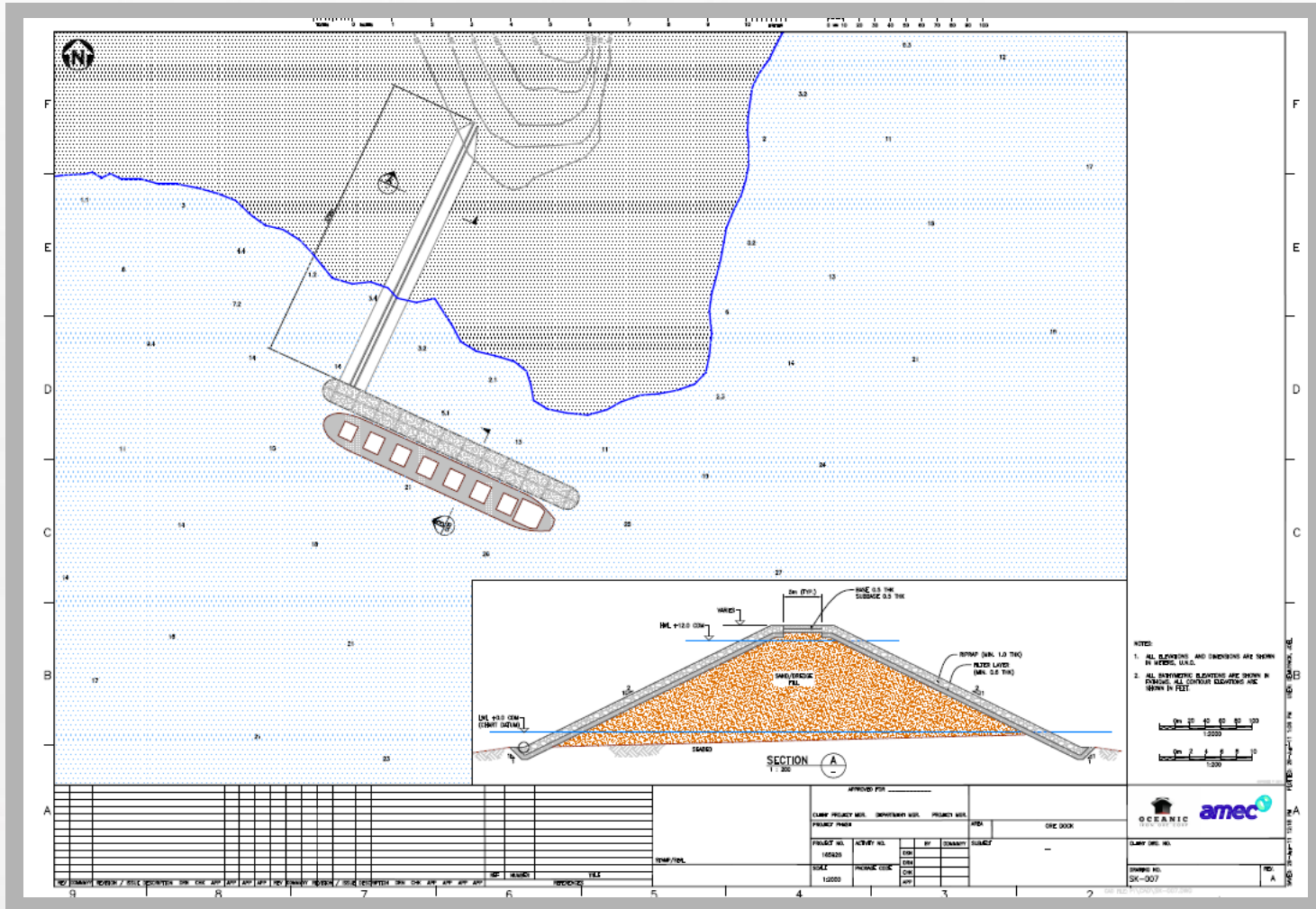






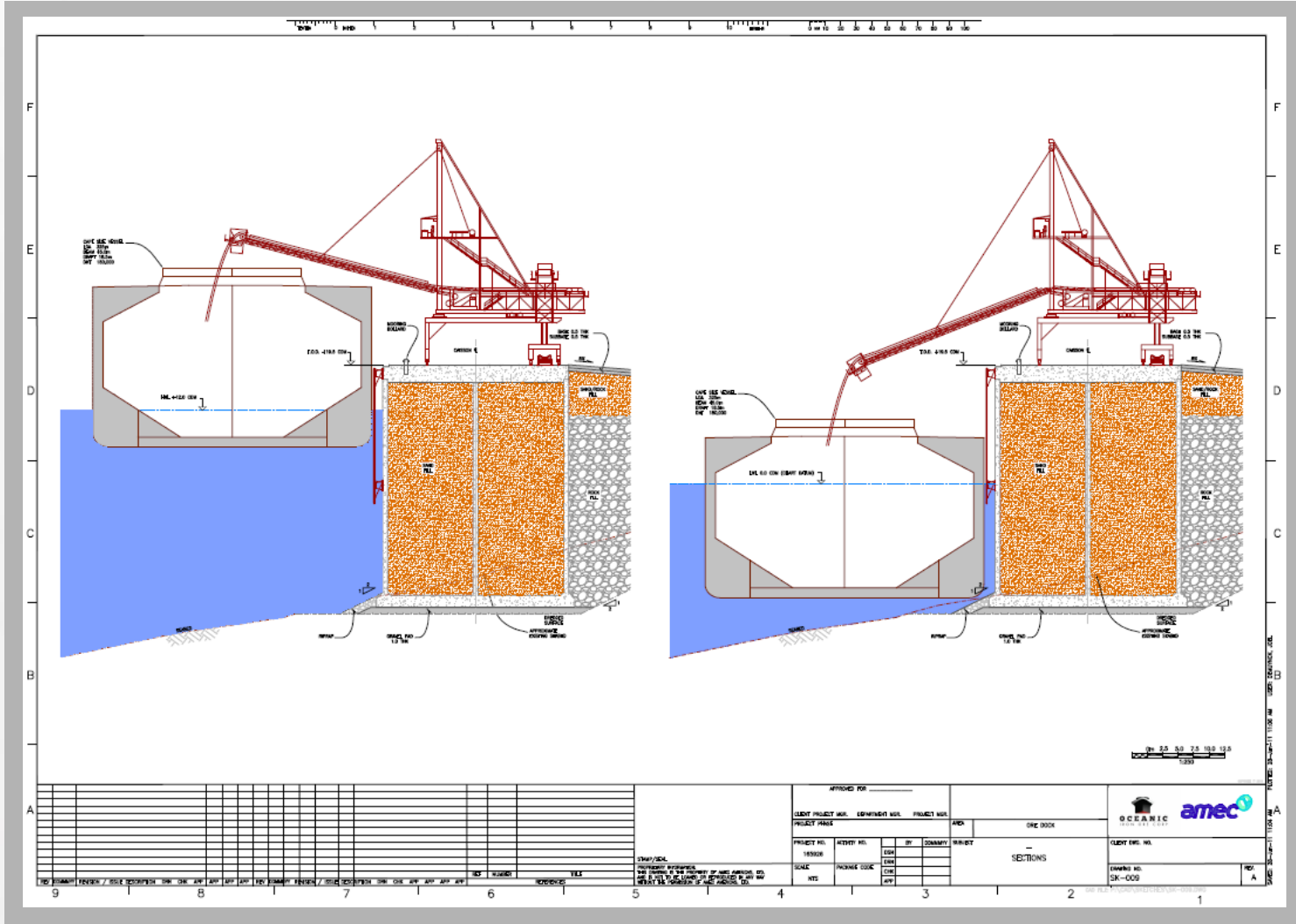
# 港デザイン概念図

- ポワンテブレイクウォーターは大規模船舶の一年を通しての通行に理想的な自然環境を整えた深水港である

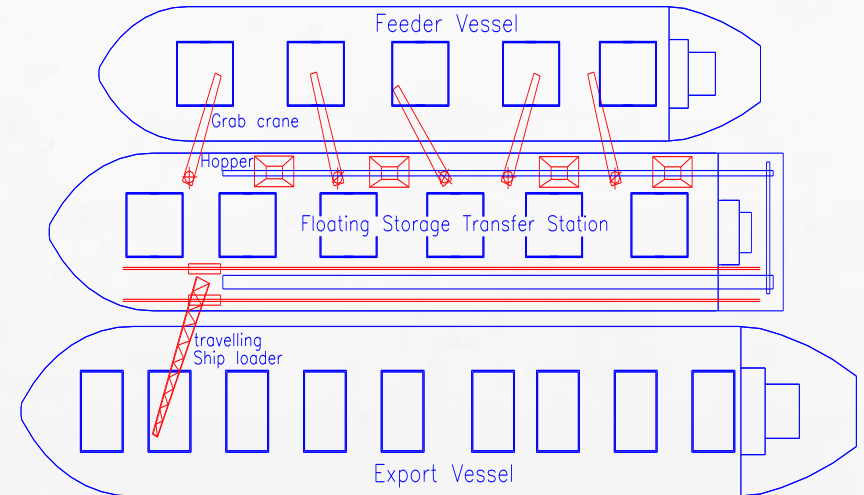


# シップローダーデザイン概念図

- シップローダーはウンゲイバ湾の波を考慮してデザインされ建築される



# 船舶輸送



- 浮上移動ステーションは貨物を氷海航行船から輸出船へと移動する器具  
つきのデッキを備える

## 航海中の氷海航行船

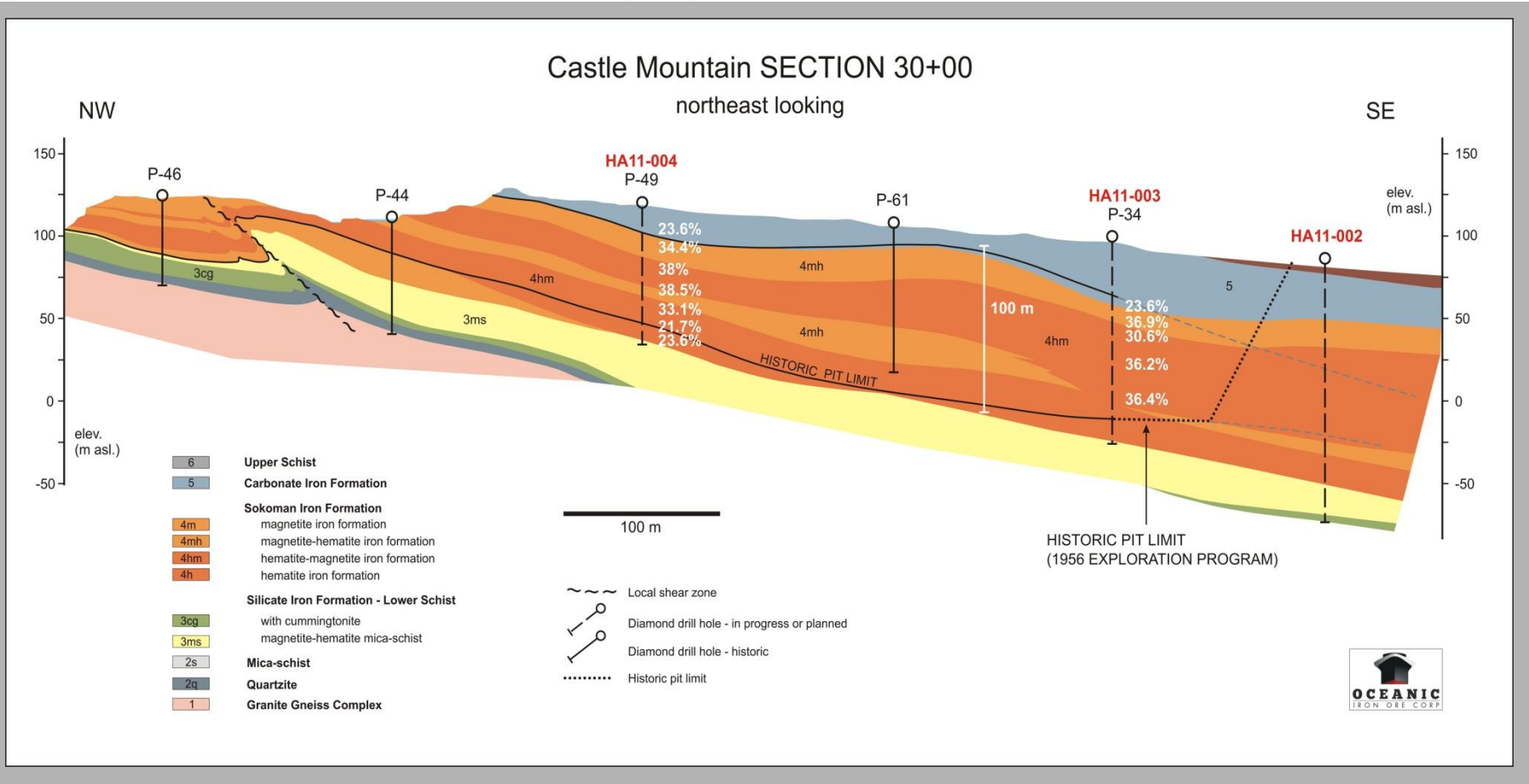


**amec**

出展：Aker Arctic

# キャッスルマウンテンの断層図

Castle Mountain SECTION 30+00  
northeast looking



## これまでの経歴

- GSCによりラブラドルトラップが鉄鉱の可能性において注目される
- 1951年にホープスアドバンスにおいて最初の権利要求がなされる
- 1950-1970年に積極的な発掘が行われ、サンプル収集、トレンチング、ドリリング、冶金学的試験工事
- 1951-1962年にウンゲイバ鉄鉱会社がホープスアドバンス領域でほとんどの発掘を完了する、8埋蔵地での185坑、12,935 mを含む。規模測定と前実施可能調査が完了。
- ロバーツレイク領域で (1952-1957年) 国際鉄鉱 (International Iron Ores Limited) が発掘を行う、6埋蔵地で97坑、5,115 mを含む。
- オーシャニック鉄鉱がモーガンレイク領域で (1955-1957年) 活動、2埋蔵地で45坑、3,611 mを含む。

## ロバーツレイク – 歴史的な資源\*

埋蔵	原資源 (百万メトリックトン)	選別鉄 (可溶 Fe)	発掘ドリル抗	深さ (m)	出展	日付
カヤク湾領域 (Kayak Bay) (1区)	111.7	35.3%	45	1,880	P.E. Cavanagh	1970
パインレンジ (Payne Range) (2区)	22.3	31.0%	26	2,535	P.E. Cavanagh	1970
イグルーレイク (Igloo Lake) (3区)	101.6	38.0%	11	248	P.E. Cavanagh	1970
ハンブ (Hump) (4区)	203.2	37.6%	15	452	P.E. Cavanagh	1970
<b>全ドリル (適応)</b>	<b>438.8</b>	<b>36.8%</b>	<b>97</b>	<b>5,115</b>	---	---
シンクリナル (Synclinal) (5区)	203.2	36.0%	0	0	P.E. Cavanagh	1970
イヴオンレイク (Yvon Lake) (6区)	101.6	36.8%	0	0	P.E. Cavanagh	1970
可能性領域 1	254.0	35.0%	0	0	P.E. Cavanagh	1970
可能性領域 2	254.0	35.0%	0	0	P.E. Cavanagh	1970
<b>全可能領域</b>	<b>812.8</b>	<b>35.5%</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	---	---
<b>ロバーツレイク領域計</b>	<b>1,251.6</b>	<b>35.9%</b>	<b>97</b>	<b>5,115</b>	---	---

\*上記は歴史的な資源の予想であり、現在のカナダ探鉱冶金学石油資源院 (CIM)の定義による標準、国の規制による鉱物資源と探鉱埋蔵標準(NI 43-101)鉱物プロジェクト開示標準に準拠していません。かかる歴史的資源の予想は、報告時における「適応されるドリル」、および「可能性」であって、NI 43-10の1.2章および1.3章に定められた範疇に対応していません。これら歴史的資源の予想は、鉄資源埋蔵の大きな領域を示唆するのに関連しますが、これらはあくまでも推定であり、極めて限られたドリリング発掘に基づいており、確証するには大規模の新しい発掘と冶金学的な調査を必要とします。これらは現在の鉱物資源埋蔵と考えるべきではなく、現在の発掘と有資格者による確証を必要とします。現在のところ有資格者による十分な調査は行われておらず、NI-43-101に則る鉱物資源と格上げされてはいません。ロバーツレイクの歴史的資源の報告は1950年後半のドリリングに基づく1970年代のもので、モーガンレイクの歴史的資源は1957年と1964年に報告され、ホープスアドバンスの歴史的資源は1958年に報告されたものです。これらについての詳細は マイコンによる43-101 テクニカルレポート (Micon "Technical Report on the Ungava Iron Property – Ungava Bay Region, Quebec, Canada 2010年10月29日 SEDARで入手可能) をご参照ください。

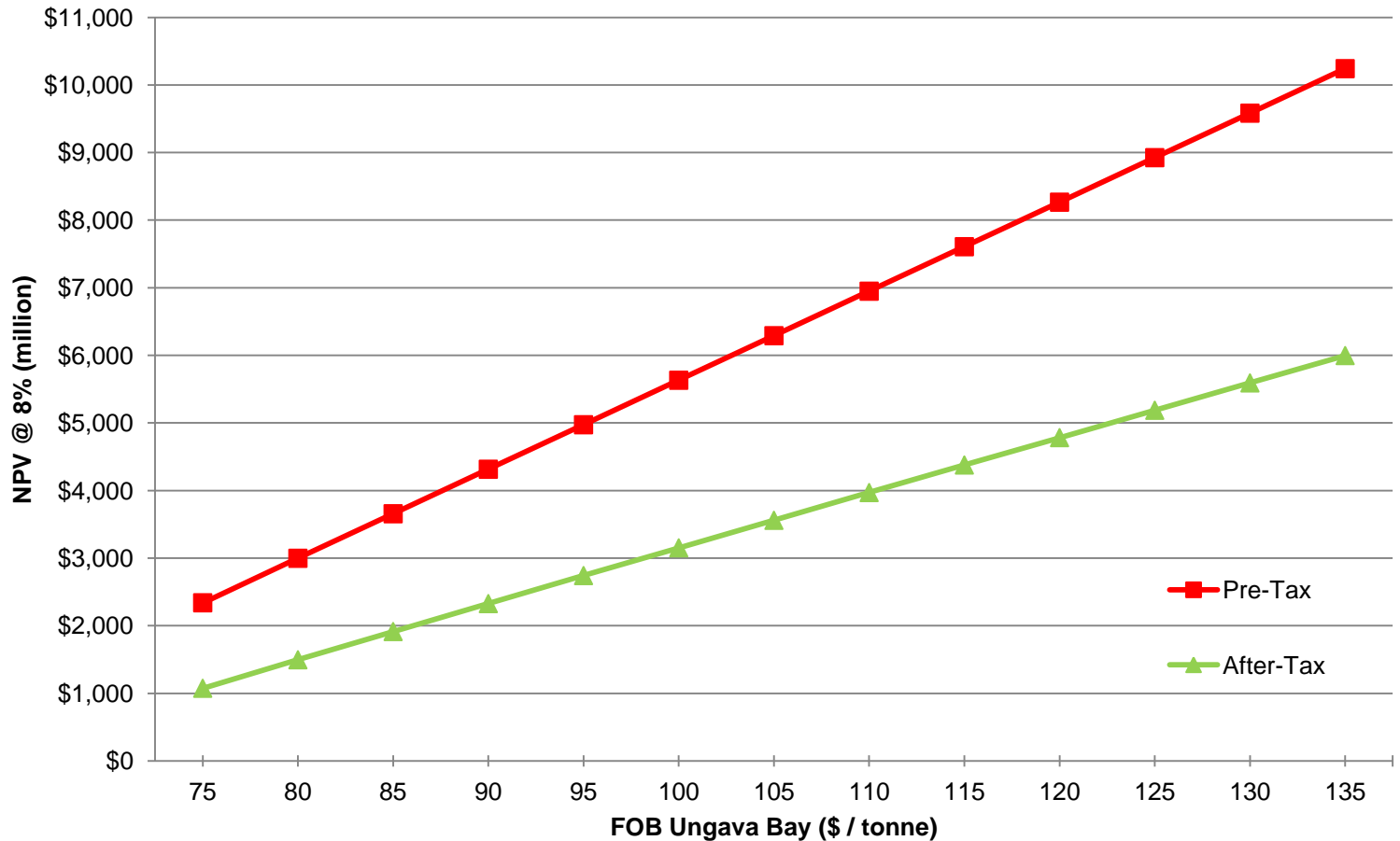


# モーガンレイク – 歴史的資源\*

埋蔵	原資源 (百万メトリックトン)	選別鉄 (磁気 Fe)	発掘ドリル抗	深さ (m)	出展	日付
パインレンジ (Payne Range)	72.4	23.9%	29	1,427	G.A. Gross	1964
モーガンレイク (Morgan Lake)	437.8	21.8%	16	2,184	A.T. Griffis	1957
<b>全ドリル (適応)</b>	<b>510.2</b>	<b>22.1%</b>	<b>45</b>	<b>3,611</b>	---	---
モーガンレイク可能性	101.6	22.7%	0	0	A.T. Griffis	1,957
<b>全モーガンレイク領域</b>	<b>611.8</b>	<b>22.2%</b>	<b>45</b>	<b>3,611</b>	---	---

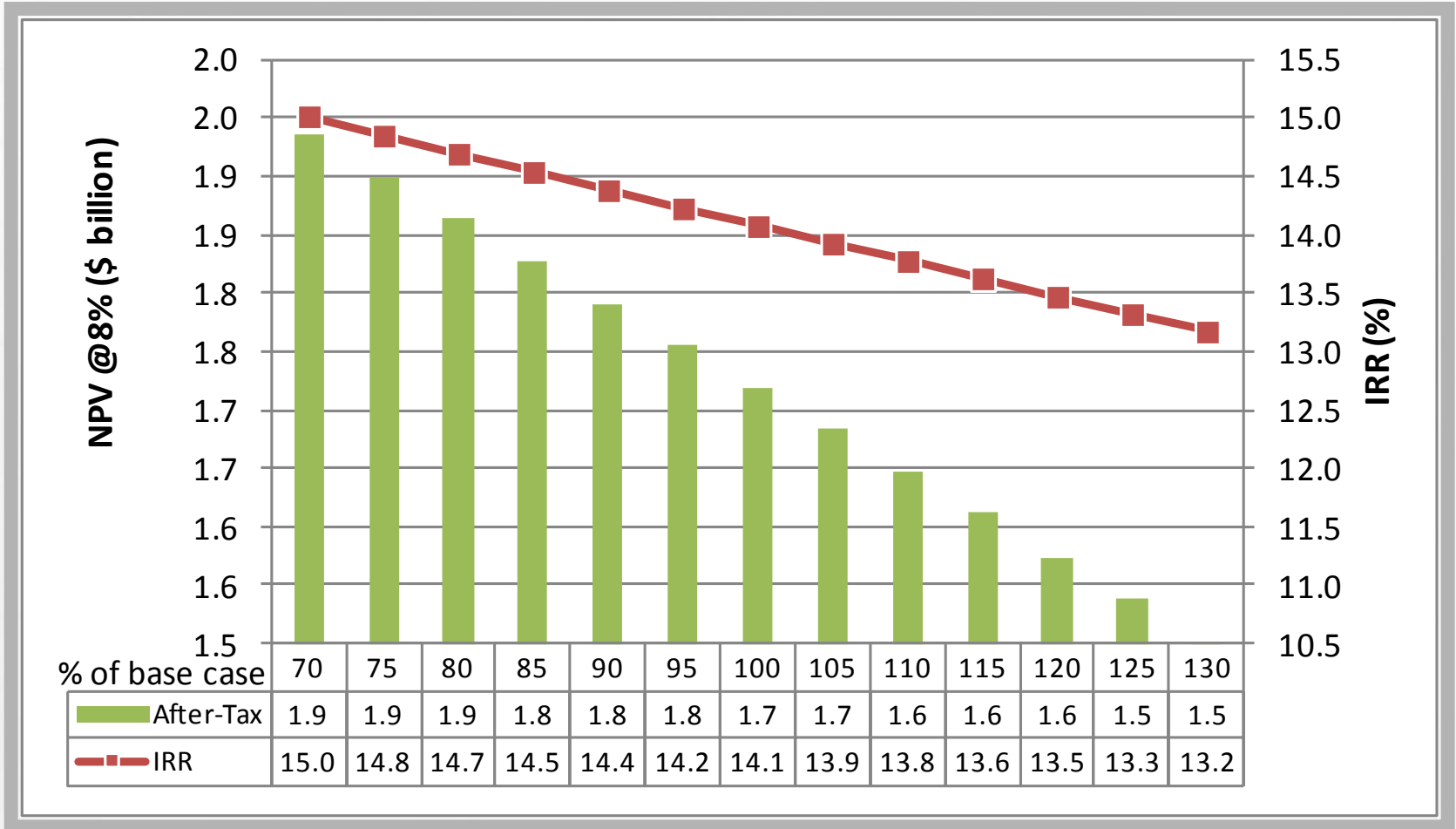
\*上記は歴史的な資源の予想であり、現在のカナダ探鉱冶金学石油資源院 (CIM)の定義による標準、国の規制による鉱物資源と探鉱埋蔵標準(NI 43-101)鉱物プロジェクト開示標準に準拠していません。かかる歴史的資源の予想は、報告時における「適応されるドリル」、および「可能性」であって、NI 43-101の1.2章および1.3章に定められた範疇に対応していません。これら歴史的資源の予想は、鉄資源埋蔵の大きな領域を示唆するのに関連しますが、これらはあくまでも推定であり、極めて限られたドリリング発掘に基づいており、確認するには大規模の新しい発掘と冶金学的な調査を必要とします。これらは現在の鉱物資源埋蔵と考えるべきではなく、現在の発掘と有資格者による確認を必要とします。現在のところ有資格者による十分な調査は行われておらず、NI-43-101に則る鉱物資源と格上げされてはなりません。ロバーツレイクの歴史的資源の報告は1950年後半のドリリングに基づく1970年代のもので、モーガンレイクの歴史的資源は1957年と1964年に報告され、ホープスアドバンスの歴史的資源は1958年に報告されたものです。これらについての詳細は マイコンによる43-101 テクニカルレポート (Micon "Technical Report on the Ungava Iron Property – Ungava Bay Region, Quebec, Canada 2010年10月29日 SEDAR で入手可能) をご参照ください。

# 本船渡し（FOB）ウンゲイバ湾鉄鉱価格に対する 正味現在価値の感度\*



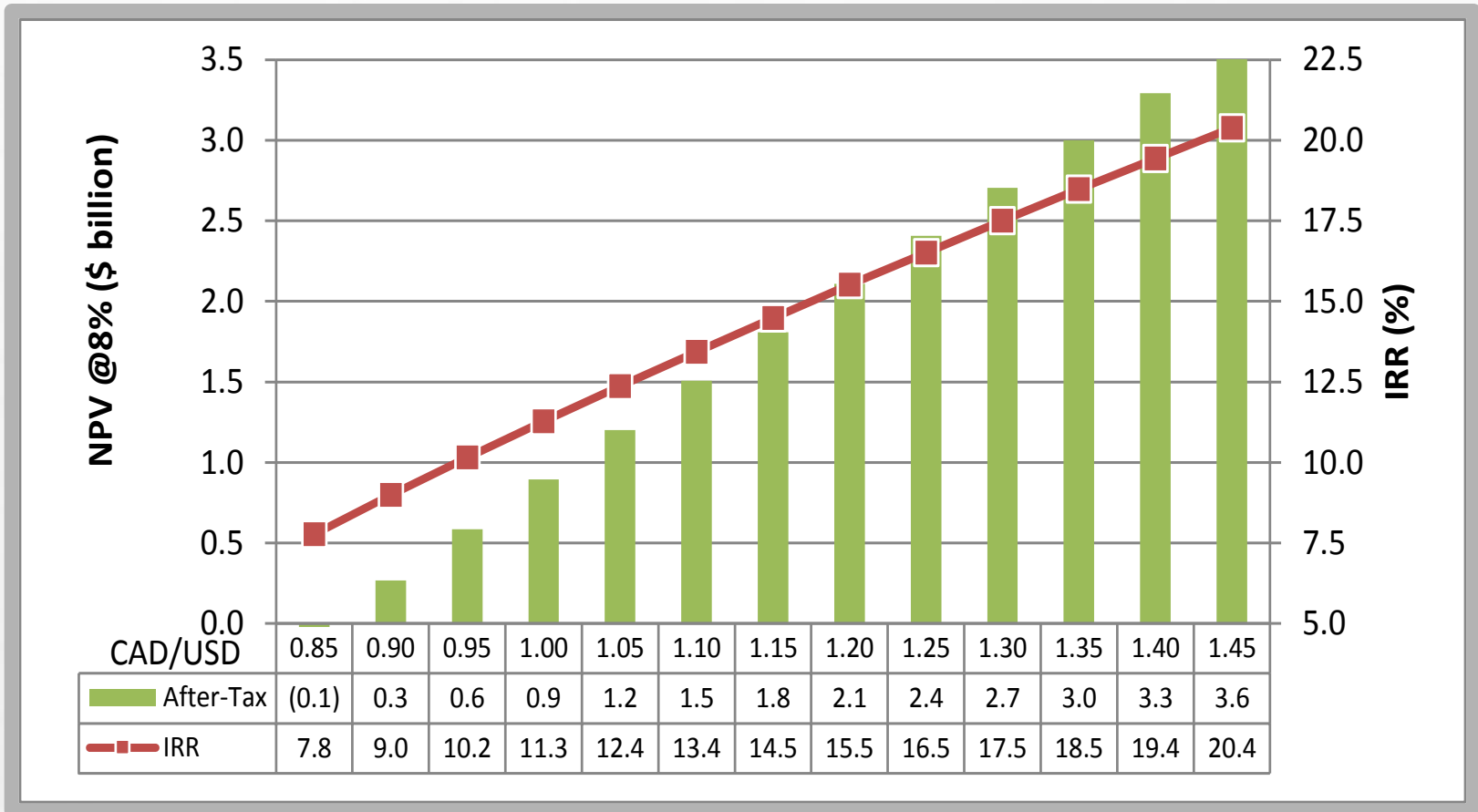
\* 出展: Oceanic Iron Ore Corp. - NI 43-101 テクニカルレポート、前実施可能性調査、ホープスアドバンス湾鉄埋蔵ウンゲイバ湾領域、ケベック、カナダで完了、NTS 24M/08, 24N05 2012年11月2日

## 燃料価格に対する正味現在価値感度



\* 出展: Oceanic Iron Ore Corp. – NI 43-101出展: Oceanic Iron Ore Corp. – NI 43-101 テクニカルレポート、前実施可能性調査、ホープスアドバンス湾鉄埋蔵ウンゲイバ湾領域、ケベック、カナダで完了、NTS 24M/08, 24N05 2012年11月2日

## カナダドル：米ドルレートに対する 正味現在価値の感度



\*出展: Oceanic Iron Ore Corp. – NI 43-101出展: Oceanic Iron Ore Corp. – NI 43-101 テクニカルレポート、前実施可能性調査、ホープスアドバンス湾鉄埋蔵ウンゲイバ湾領域、ケベック、カナダで完了、NTS 24M/08, 24N05 2012年11月2日

## 建設資本費\*

資本説明	初期の資本費用 2014 から 2016 (\$000)	拡張資本費用 2025/2026 (\$000)
採鉱設備	92,658	61,231
採鉱開発	66,203	2,918
破碎機	29,674	30,355
選鉱機	481,514	492,643
パイプライン	56,740	83,787
港口フィルタリングと乾燥	325,654	267,401
港および海上インフラ	288,000	84,000
電源	377,892	26,775
サイトインフラ	81,591	25,675
サイト道路	33,583	-
キャンプと事務所	29,575	7,175
滑走路更新	11,824	-
淡水供給	10,469	3,621
下水	4,554	1,574
テーリングと危険物廃棄	23,577	30,122
通信	2,305	-
携帯設備	9,983	-
非直接費用	499,962	249,378
緊急用と閉鎖債権	427,899	241,135
<b>全建設資本</b>	<b>\$2,853,657</b>	<b>\$1,607,790</b>

\* 出展: Oceanic Iron Ore Corp. – NI 43-101クニカルレポート、前実施可能性調査、ホープスアドバンス湾鉄埋蔵ウンゲイバ湾領域、ケバック、カナダで完了、NTS 24M/08, 24N05 2012年11月2日

# 全本船渡しオペレーションコスト (利権使用料を除く)\*

範疇	年 2017 - 2024	年 2025 - 2026	年 2027 - 2047	マインライフ平均
	(10百万メトリックトン/年 & 自家発電)	(10百万メトリックトン/年 & 水力発電)	(拡張後 - 20百万メトリックトン/年)	
採鉱 (\$/トン 全資材)	\$1.57	\$1.59	\$1.23	\$1.27
採鉱 (\$/トン 製産物)	\$5.46	\$6.30	\$7.78	\$7.37
選鉱機 (\$/トン 製産物)	\$20.87	\$18.35	\$17.45	\$18.02
港 (\$/トン 製産物)	\$2.13	\$2.13	\$1.45	\$1.58
サイト諸サービス (\$/トン 製産物)	\$3.33	\$2.77	\$2.04	\$2.27
一般事務(サイトのみ) (\$/トン 製産物)	\$1.38	\$1.38	\$0.85	\$0.95
<b>全オペレーション費用/トン 製産物 (利権使用料を除く)</b>	<b>\$33.17</b>	<b>\$30.93</b>	<b>\$29.57</b>	<b>\$30.18</b>

\* 出展: Oceanic Iron Ore Corp. - NI 43-101テクニカルレポート、前実施可能性調査、ホープスアドバンス湾鉄埋蔵ウンゲイバ湾領域、ケベック、カナダで完了、NTS 24M/08, 24N05 2012年11月2日

## 選鉱機オペレーション費用

### マインライフ選鉱機 オペレーション費用(1000 \$)

期間	2017 – 2024	2025 – 2026	2027 – 2047	マインライフ計
生産レート	10 百万トン/年	10 百万トン/年	20 百万/年	-
電力	自家発電	水力発電	水力発電	-
オペレーション費用				
労働力	\$126,113	\$32,285	\$424,882	\$583,280
電力	\$977,857	\$184,539	\$3,641,264	\$4,803,661
消費財	\$103,948	\$26,611	\$543,593	\$674,152
研削媒体、化学剤	\$222,816	\$57,041	\$1,165,205	\$1,445,062
乾燥機 – バンカーC	\$173,080	\$59,078	\$1,206,816	\$1,438,974
乾燥機 – ジーゼル	\$6,188	\$2,112	\$43,143	\$51,442
資材処置 – 燃料	\$621	\$159	\$2,634	\$3,415
資材処置 – その他	\$20,074	\$5,139	\$103,243	\$128,457
計	<b>\$1,630,698</b>	<b>\$366,964</b>	<b>\$7,130,780</b>	<b>\$9,128,443</b>
ユニットコスト (\$/トン精鉱)	\$20.87	\$18.35	\$17.45	\$18.02



**OCEANIC**

IRON ORE CORP

[WWW.OCEANICIRONORE.COM](http://WWW.OCEANICIRONORE.COM)

TSX:V - FEO